

岩手県の雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性及び生育特性

【概要】

- 1 ピーマン台木品種「グランバギー」、「みやざき台木 5 号」、「台ひなた」は、いずれも慣行品種「台助」と同等の青枯病抵抗性を有しています。
- 2 穂木に「京鈴」を用いた場合、栽培初期の草勢は強い傾向があり、いずれの品種も総収量及び可販果収量は、「台助」と概ね同等です。

台木名	青枯病	疫病	ネコブセンチュウ	PMMoV 抵抗性遺伝子型	育成機関
グランバギー	○	○	○	L ³	タキイ種苗 (株)
みやざき台木 5 号	○	○	○	L ³	宮崎県
台ひなた	○	×	○	L ³	宮崎県ほか
台助 (慣行)	○	×	○	L ³	(公財) 園芸植物育種研究所

※○：抵抗性あり、×：抵抗性 弱 (または抵抗性なし)

青枯病以外の病害抵抗性は、メーカー公表資料等を基に一部改変

【試験データ等】

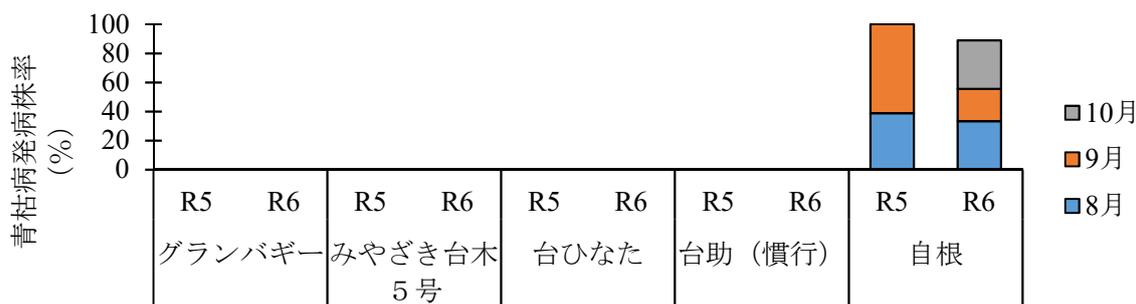


図 1 青枯病の月別発病株率 (場所：場内の青枯病汚染ほ場) R 6)

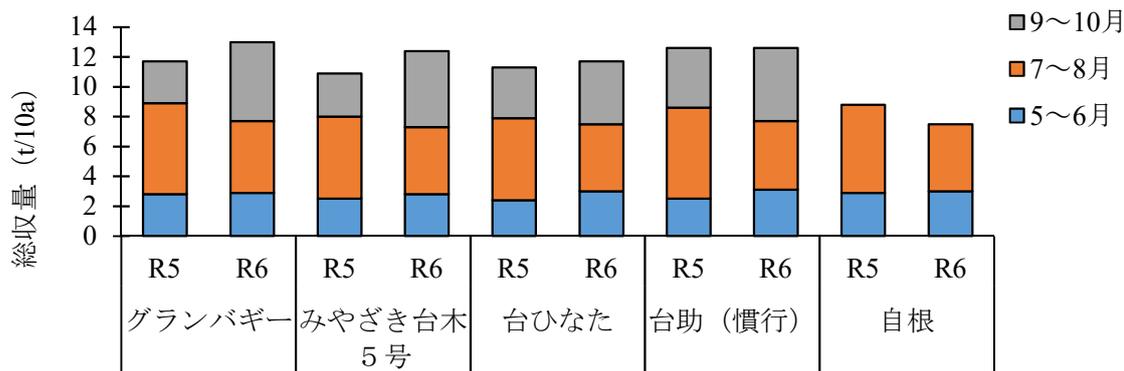


図 2 収量調査結果 (穂木品種：すべて京鈴)

○留意事項

穂木と台木は、どちらも PMMoV 抵抗性 L³ 遺伝子を有している品種を用います。

【令和 6 年度成果】岩手県の雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性及び生育特性 (R6-指-17)